

**ONE WORLD 北海道宮殿 に関する通信 No. 6**

編者 金子りきお 札幌大学名誉教授、地球愛友好機構名誉会長

2025年11月19日 kaneko-ri@jcom.home.ne.jp Tel. 080-4882-5455

2013年まで、札幌大学で国際関係論を担当してきた編者は、同年定年退職した直後、北東アジア共同体平和機構を設立して、その発展に努めてまいりましたが、それを2020年には、世界的かつ包括的な地球愛友好機構、ELFO (Earth-Loving Friendly Organization)に改組し、その創建にたどりつきました。(詳細は <http://mopw.org/elfo-outline-jun2022.pdf>. なお、ELFOのサイトは <http://wopw.org>、ELFO憲章は <http://mopw.org/e-fram甲age.html>)

同機構には20以上の主要機関が定められているほか、国際調停機構など多くの子団体も誕生し、そのひとつが地球愛オアシス機構、OELO (Organization of Earth-Loving Oases)で、これはホテル、観光、異文化交流、融資等を目的とする機構です。**ONE WORLD 北海道宮殿**の創建計画は、世界各地における同種宮殿の設立が期待されているものの一例で、かつELFOとOELOで承認された計画でございます。(OELO憲章をみるには、[ここをクリックされたし。](#))最近では、各国のONE WORLD宮殿を扱う**地球愛友好宮殿機構** (OPELA) が誕生する成り行きです。

どの機構の会員も、ほぼ外国人であるために、ONE WORLD宮殿は、いずれの国のものであっても、国際的な性格をもつので、関係者も資本も、国民的というより、全地球的な色彩を帯びる可能性があるでしょう。

2024年9月1日に、私は地球愛平和友好北海道宮殿のプロジェクトに関する了解覚え書き、MOU (Memorandum of Understanding)の草案を地球愛オアシス機構に英文で提示して、さらに追加条項の作業を継続してまいりました。大規模な計画について、ONE WORLD宮殿との名称の選択肢を提唱したのは、2025年の秋からでございます。

国別の宮殿、またはその地方的な小宮殿などを設立していく過程では、当然、英語のほか当地の言語も使用し、さまざまな人びとの理解と協力を求め、当地の特性を考慮することが必要でございます。

一般的に言えば、地球愛友好機構ファミリーが、その子団体の国別地球友好協会 (ELFA) または当地の地球愛社などと協力しつつ、独自で自国のONE WORLD宮殿を創建できるのであれば、それは宮殿をとおして、まさしく平和と友好を促進できる榮譽の道であります。多くの場合には、地球愛友好ファミリー以外の多くの人と団体の理解および協力をえなければならないので、国または地方により、今回提示するような了解覚え書きは、あれこれ修正されると思われます。

第1に、**ONE WORLD 北海道宮殿**の名称。当初は、地球愛平和友好宮殿と称されてきましたが、発起人や関係者の気持ちに合うものが望ましいので、いろいろな名称が実際は使用されるでしょう。

第2に、実際の可能性を考慮した場合、敷地、融資額、空間の利用が、多少とも修正されるでしょう。融資は巨額で、地球愛友好機構が全力投球するにせよ、それが達成されないなら、かなり修正されるかもしれません。

いずれにせよ、地球愛友好ファミリーは、次頁からのようなONE WORLD北海道宮殿設立に関する了解覚え書き案を公開しますので、今後も道民、日本国民、および世界の人びとのご理解とご協力を心より切望しております。

ONE WORLD 北海道宮殿

設立に関する了解覚え書き（第6次案）

（注：イタリック体はコメント）

我ら、ONE WORLD 北海道宮殿（以下、北海道宮殿と略す。）のプロジェクトのパートナーは、このプロジェクトの実現が諸民族間の平和、友好、福祉、信頼の促進に寄与する上で非常に意義深いものであることを認識し、

この平和的プロジェクトの完成に向けた国際協力が、実りある成果を生み、世界の人びとの心を結びつけることを確信し、

このプロジェクトの憲法ともいふべき了解覚え書き(MOU)を作成して、

ONE World 北海道宮殿の本プロジェクトを実現するために力を合わせることを決意した。

ELFO 会員は、例えば、地球愛平和友好北海道宮殿、平和福祉友好会館（ELFO 憲章、第53条）、地球愛オアシス（同）等の名称が良いと思うかもしれないが、このプロジェクトでは ELFO の非会員である MOU の当事者が非常に多くなることが予想されますので、実際のプロジェクト名称、建物の名称だけでなく、MOU の諸条項の内容も、原会員によって決定されるべきでしょう。

2026年〇〇月〇〇日に北海道で作成。

第1部 序論

第1条 貸与または投資義務のある MOU の原当事者

投資といえば、国によっては規制が極めて厳格でありうるので、投資の知識のない一般人が、投資家をとおしてプロジェクトを融資できるよう、貸与義務との用語を提案しました。

1. 了解覚え書き（以下、MOU という）の原当事者は、世界中の人びとの心を結びつけ、諸民族間の平和、友好、福祉、信頼を促進することを考慮に入れて、本 MOU を作成および更新するものとする。

2. プロジェクトの実現することを望み、それに寄付する用意のある人士、および貸与または投資義務を負うことに同意する MOU の原当事者は、原則として、次のとおりである。

ここでの規則は具体的な金額を示していないため、本プロジェクト 北海道宮殿の建立に少額の寄付または融資する者であっても、そのご芳名が刻印される。

- a. 地球愛友好機構名誉会長、札幌大学名誉教授 金子りきお；
- b. このMOU 発効前に寄付または融資の意志を表明する借款起業家；
借款起業家 (Loanee-Enterpriser) がすぐさま出現し、MOU の発効前かなりの寄付、投資、または借款に関心をいただけていただけのなら、ひじょうな慶事ですが、しかし、そのような会社、企業、自治体、またはそれらの混合組織をすぐ見つけることは容易でないでしょう。運よく、そのような借款起業家が出現した場合が、このb項であり、そうでない場合は、これは削除される。
- c. 国連外交官 キセンボ アブラハム (Kisembo Abraham) 氏、OELO (地球愛オアシス機構) 会長；
- d. ELFO (地球愛友好機構) 会長 エドマリオ ペイヒンホ (Edmario Peixinho)；
- e. OPELA (地球愛友好宮殿機構) 会長
- f. 北海道宮殿 プロジェクトの会計業務を担当する銀行；
- g. 北海道宮殿 の建設を完了する責任を負う建設業者；
- h. このMOU に関し、銀行家や投資家などに投資させることに成功した者；
- i. 現プロジェクトに投資する準備ができていない協力者 (銀行家、投資家、一般人など)。

第 2 条 貸与または投資義務のない原当事者

1. 以下の人士は、北海道宮殿 のプロジェクトに貸与または投資する義務を負うことなく、本MOU の当事者となることができる。ただし、希望する場合は、その限りでない。

- a. 北海道の政党または政党人
- b. 北海道の法律家および/または法律家団体
- c. 北海道の教育機関または教育者
- d. 世界中のスポーツ・ゲーム選手および/または団体
- e. 世界中の友好団体
- f. 世界中の宗教家および/または宗教団体
- g. 世界中の銀行家および/または金融機関
- h. 世界中の企業家および/または業界団体
- i. 世界中の観光、ホテル、レストランの関係者
- j. 世界中の文化人および/または文化団体
- k. 本プロジェクトに関心あるその他の世界中の人士および団体

2. 融資義務のないと当事者は、北海道市民、日本国民、または外国人であるとの出自の理由から、不平等に取り扱われてはならない。 融資義務のない原当事者は、その後続者とも平等である。

第3条 地球愛友好仲間の特性

1. このMOUの当事者は、地球愛友好仲間、ELAF: Earth-Loving Amicable Fellowsと称し、このグループは柔軟で、同グループの会長、代表者または責任者は、当初は存在しないものとする。第1条第2項dが定める銀行は、原則として、MOUの他の当事者と同等の投票権を持つ議長になることができる。ただし、他のパートナーより優位に立つことはできないものとする。

2. 第1条第2項dの銀行が、地球愛友好仲間の暫定議長になる意志があるか否かにかかわらず、地球愛友好仲間が組織される。同仲間は、そのメンバーになることを明示的に同意したパートナーで構成され、そのようなメンバーが3人以上出現したとき、同仲間は機能できるものとする。

地球愛友好仲間は、その構成と職務をMOUの認める範囲で決定することができる。

3. 本MOUの各当事者は、手続き上の事項に関して同等の投票権を持つ。ただし、本プロジェクトの資金とその流れの決定に関しては、すべてのMOU当事者が地球愛友好仲間の枠組み内で、付属書Iに示されている投資に比例した緩和投票に同意するものとする。

投資額に比例して10分の1ずつ圧縮される投票制度。これによれば、例えば、1単位の投資家は1票、10単位の投資家は2票、100単位の投資家は3票を有する(付属書I)。投資知識の欠如、多忙、その他の理由で、一般人が投資家をとおしプロジェクトに融資する場合、そのような融資者は、投票権を有しない。

第4条 了解覚え書きの目的

この了解覚え書きの目的は、次のとおりである。

- a. 別紙IIで計画されているONE WORLD北海道宮殿の設立プロジェクトを実現すること。
- b. 世界中で採用されべき北海道宮殿の最良の模範的一例を創りあげること。
- c. 多文化交流と国際協力を促進すること。
- d. 北海道の経済活性化およびスポーツの親善交流に資すること。
- e. 北海道宮殿に観光客を迎え入れ、国際観光を促進すること。

第5条 MOUへの参加

MOUは、その署名時の協力者(銀行、投資家など)だけでなく、現在のMOUの当事者と協力する用意のあるすべての人に開放される。

第 2 部 地球愛友好仲間会長

第 6 条 借款起業家の公募

1. 北海道宮殿 は北海道に所在する。ただし、地球愛友好仲間は、世界中から北海道宮殿の借款起業家を公募するものとする。

もちろん、強力な借款起業家が北海道に現れることは非常に望ましいことです。しかし国際協力と多文化理解を早期に促進するためには、その範囲を北海道に限定しないという選択肢もあります。

2. 借款起業家は、商業上の利益のためだけでなく、世界中の人々の心を結びつけ、平和と友好の促進にも貢献するために、北海道宮殿 の現プロジェクトを実行することを決意している個人、組織、または起業家の混合形態とすることができる。

第 7 条 地球愛友好仲間の存続

1. 借款起業家の候補者が、地球愛友好仲間により借款起業家として承認され、地球愛友好仲間の会長になることを希望する場合には、地球愛友好仲間は多数決によりこれを歓迎し、借款起業家はこの仲間の会長になるものとする。

2. 新しい借款起業家が地球愛友好仲間の会長になることを希望しない場合に、地球愛友好仲間はその会長を同仲間のなかから選出する。

第 8 条 会長の最初の仕事

1. 地球愛友好仲間会長の最初の仕事は、宣誓を行い、できるだけ早く方針を公表することである。会長は、その誓約書において、世界中の人びとの心を結びつけつつ、諸民族間の平和、友情、福祉、信頼の促進に貢献することを述べるものとする。

2. 地球愛友好仲間会長は、方針において、以下の点を述べるものとする。

- a. 本 MOU の当事者間で締結された合意を尊重する。
- b. 本プロジェクトを他国にとっても良い模範の一例とする。
- c. 本プロジェクト 北海道宮殿 について、特に担保について、より詳細に説明する。
- d. 融資を増額する可能性があるかどうかを明確にする。
- e. 特に本 MOU の継続、北海道宮殿建立の完了、アパート、部屋、その他のスペースの販売開始等に関する今後のスケジュールを説明する。

第3部 借款起業家の権利と義務

第9条 北海道宮殿プロジェクトのための融資

1. 借款先企業家は、協力者（銀行家、投資家など）から、総額 XXXXX 米ドルまで融資を受けとることができる。ただし、その額には寄付は含まれない。

寄付を含めても、数年内にブローカーが XXXXX 米ドルを工面できないこともありうるでしょう。関係者間の合意に基づいて一部の協力者が個別に資金を送金し、ある程度まで目どがついたとき、下記のように、着工するということが考えられます。

2. 借款企業家が総額 XXXXX 米ドルを 2026 年 12 月 31 日までに受け取らなかった場合であっても、同企業家は、地球愛友好仲間の過半数の決定により、いつでも自らの責任でプロジェクトを開始できる。

第8条「奨励措置」をみてください。これらの措置を通じ、借款企業家が資本を受け取った場合、地球愛友好仲間の多数決で、同企業家は最初の業務を開始できる仕組みになっています。

3. 2026 年 12 月 31 日以降、協力者から借款企業家に送金された資本については、両者の合意に従って、原則として、2035 年までに返金されるものとする。

第10条 北海道宮殿 の担保および保証人

1. この事項は、地球愛友好仲間会長が選出されたとき、同会長がそのときの状況と方針を示す。
2. 借款起業家が承認されるまでは、この項目について、同仲間会長が、借款起業家の候補者、専門家、および関係者と協議する。
3. 借款起業家が承認されたとき、同企業家は、地球愛友好仲間会長と共同で、北海道宮殿建立プロジェクトの担保および保証人に関する共同声明を公表しなければならない。

第11条 協力者への返金および利息

1. 借款の総額とその利息は、借款起業家と協力者（銀行家や投資家など）との個別契約で、別段の定めがない限り、15 年以内に返金されるものとする。

2. 15年間の利率は、同企業家と協力者との個別契約で、別段の定めがない限り、年率4%が適用されるものとする。

3. 本MOUが2026年12月31日に発効すると仮定するなら、借款起業家は、協力者との合意により、以下のいずれかのモデルを選択して、上記のXXXXX米ドルを協力者に返金することができる。

- a. 別紙ⅢのAに示す借款起業家の負担が軽いモデルA;
- b. 別紙ⅡのBに示す同起業家の負担が中程度であるモデルB;
- c. 別紙ⅡのCに示す同起業家の負担が重いモデルC;
- d. 同起業家と協力者が合意する混合負担のモデルD。

第12条 返済不履行

1. 借款企業家が、上記特定の年に返済しなかった場合、その年の利息は5%となり、6年目からは、同企業家と当該協力者の間で別段の合意がない限り、利息6%が返済額に適用されるものとする。

2. パートナーは、借款企業家の滞納を非友好的と見なしてはならない。

第4部 奨励措置

初期段階では、MOUの当事者にいくらかの資金が必要になります。これら奨励措置の主な目的は、同措置によって集められる準備資本によって、プロジェクトの開始をうながすことです。

第13条。地球愛友好仲間による3つの措置の奨励

1. 地球愛友好仲間は、本MOUの締結時期にかかわらず、合意にもとづいて、融資の第1走者に出資額の3%、第2走者に2%、第3走者1%を、11条第2項の定める4%に上乗せする返金方針を奨励して、協力者の融資の早期決断をうながすことができる。

2. 送金、返金などに関する具体的な条件は、借款起業家と協力者の間で合意されるものとする。

第1条第2項dの「北海道宮殿プロジェクトの会計業務を担当する銀行」がない場合は、走者が送金する地球愛友好仲間用の通帳を作成する必要があることがわかります。

第14条 7%の利子をうける第1走者

1. 地球愛友好機構の名誉会長 金子利喜男、地球愛オアシス機構会長、キセムボ アブラハム (Kisembo Abraham) 氏、および地球愛友好機構会長、エドマリオ ペイヒンホ (Edmario Peixinho) 氏は、MOU の目的を実現するという確固たる決意を示す義務のある第1走とならなければならない。

a. キセムボ氏は少なくとも2,000米ドルを融資するものとする。

2024年9月にキセムボ氏が地元で甚大な災害に見舞われたことはご存じのとおりです。どうしたらよいでしょうか。キセムボ氏への特別配慮について考えてみましょう。

b. エドマリオ氏は少なくとも1,000米ドルを融資するものとする。

2. 第1条が予定する銀行は、少なくとも3,000米ドルを融資する義務のある第1走者とする。

4. 地球愛友好宮殿機構の第2、第3会長、副会長；地球愛オアシス機構の第2、第3会長、副会長も、少なくとも500米ドルを送金する第1走者となる。ただし、1年間の7%の単利で払い戻しを請求できるものとする。

4. 地球愛友好機構ファミリーの会員のみならず、世界中の誰でも、国内法で認められている最大限の利益を得るために投資の専門家に資金を貸し、7%の利子で払い戻しを受ける権利を有する。送金の残りの1%は、当該専門家への報酬とする。

第15条 6%の利息をうける第2走者

1. 地球愛オアシス機構の以下の会員は、送金の年率6%の利息を受け取れる第2走者となる。

a. 地球愛友好仲間会長；

b. 地球愛オアシス機構の以下の部門の長：宿泊事業者部門、宿泊管理部門、宿泊仲介部門、融資部門、その他の部門。

c. 地球愛友好宮殿機構の以下の期間の長：代表者会議、企画理事会、経済理事会、アカデミー理事会、教育理事会、文化理事会、スポーツおよびゲーム理事会、観光理事会、ホテル理事会、住宅理事会、病院理事会。

c. 協力者の代表者；

d. 借款企業家の代表者；

e. 事務局長。

2. 第2走者は、少なくとも500米ドルを融資しなければならない。

3. 地球愛友好機構ファミリーの会員のみならず、世界中の誰でも、国内法で認められている最大の利益を得るために、投資の専門家に資金を貸して、6%の利息で返金を受ける権利を有する。残りの1%は、その専門家への報酬とする

第16条 5%の利息をうけとる第3走者

1. 地球愛友好機構、地球愛オアシス機構、および地球愛友好宮殿機構の以下の会員は、自己の送金の年率6%の利息をうけとることができる第3走者となるものとする。

- a. 地球愛友好機構の主要機関の各長。
- b. 2024年7月26日現在、外務省の350人以上の外交官で構成される国家間理事会の会員
- c. 地球愛友好機構、地球愛オアシス機構、地球愛友好宮殿機構の事務総長。

2. 第3走者は、少なくとも300米ドルを融資しなければならない。

3. 地球愛友好機構ファミリーの会員のみならず、世界中の誰でも、国内法で認められている最大の利益を得るため、投資の専門家に資金を貸し付けることができ、5%の利息で払い戻しを受ける権利を有する。送金の残りの1%は、その専門家への報酬となる。

第17条 送金

1. パートナー間の国際送金は、別段の合意がない限り、Paypalを通じて行われるものとする。

2. 借款起業家は、プロジェクト専用の銀行通帳を持たなければならない。

会員は直接通帳に送金することができる。ただし、この場合、送金ルートは銀行経由になる場合、手数料は驚くほど高額になる可能性があるが、Paypal経由の場合は手数料はほぼ無料である。

第18条 ズーム友好会議

1. 地球愛友好仲間と借款起業家は、ズーム友好会議（ZAM: Zoom Amicable Meeting）を開催し、このプロジェクトに関心あるすべての人びと語り合えるような場を提供する。

2. 日本人だけでなく、自国に地球愛平和友好宮殿を設立することに関心のある外国人も歓迎する。そのため、少なくとも週に 1 回は英語で ZAM を実施するものとする。

3. 他国で 宮殿または小宮殿 が設立された場合に、北海道の 地球愛友好仲間および北海道宮殿 は、ズーム友好会議を最大限に活用して、それらと協力し合う。

第 5 部 ブローカー

第 19 条 ブローカーの定義

1. 国内法にしたがい、日本だけでなく、世界のあらゆる人びとおよび 法人が、本 MOU の定めるブローカーになることができる。(ブローカーについては <http://mopw.org/elo%20n3.pdf>)

2. 本 MOU で、「ブローカー」とは、人を地球愛友好仲間 (ELAF) へ参加すべく招待し、この非招待者が北海道宮殿 プロジェクトに融資することを望み、および/または協力者と融資先をマッチングさせた者をいう。

第 20 条 書面による招待

1. 本 MOU では、単なる口頭での招待は不十分で、招待されるべき人に招待状が個別に書面で送付され、書面で回答される必要がある。

2. 借款起業家および/または協力者 (銀行家または投資家等) の招待に成功した人が、第 6 部の定める「代表者」となる。

第 21 条 仲介人

上記協力者が、契約により借款起業家に資金を送金する場合、別段の定めがない限り、仲介人は協力者から送金の 1%をうけとることができる。

仲介人が所属する別団体の規則では、仲介人は借款起業家からも紹介手数料を得ることができる、と定めていることがあるにしても、この MOU では、仲介人が借款起業家から仲介料を求めることはできないと起草しました。借款起業家の早期の出現を容易にするためです。

第 22 条 追加融資

1. 協力者が本 MOU に加入してから 6 か月間、仲介人が協力者と借款起業家間で満足のいく仲介ができない場合、この仲介人に代わって、いかなる MOU 当事者も、借款起業家への資金を提供するパートナーとなることができる。

2. この場合、この当事者は送金の 1% の仲介料をうけとることができる。

第 6 部 代表者

第 23 条 代表者の定義

本了解覚え書きにおいて代表者とは、ある人を地球愛友好仲間招待することに成功したパートナーをいう。

北海道宮殿の設立に関心を抱く者は、あれこれの他の関心者に地球愛友好仲間になるよう、呼びかけられると思われまふ。この呼びかけ人が、これに応じた新しい仲間の代表者であり、この新会員は、宮殿に日本語教室を開設したいとか、茶室を創りたいとか、いろいろな動機があるでしょう。

第 24 条 代表者とアシスタント

1. 本覚え書きでは、原則として、代表者も借款起業家または協力者のアシスタントも、原則的に仲介人になることができないものとする。ただし、アシスタントは、本覚え書きの当事者との契約によってアシスタント料を得ることができる。

「代表者も借款起業家または協力者のアシスタントも、仲介人になることができない」と提示したのは、規則の複雑化をさけるためです。

2. 代表者は、協力者から借款起業家に送金された送金の 1% の利息をうけとることができる。

たとえば、ヨガ教室も面白いと思つて、ヨガ関係者を地球愛仲間に勧誘して、その教室の購入費として 5000 万円を宮殿の起業家に支払ったとすれば、その 1% 50 万円をヨガ関係者の代表者から受け取ることができる、という意味です。

第 25 条 代表者の権利

1. 代表者は、その招待者が投票権を行使しない場合、招待者に代わって投票する権利を有する。
これは、各事案につき、委任状が必要なこと意味しない。制度上このようなものと提示している。
2. 協力者が借款起業家と借款契約を締結した場合、当該代表者は、反射的利益として、送金額の少なくとも 1% の利息を反映した一定の利益を協力者からうけとることができる。

第 7 部 アシスタント

第 26 条 世界中のあらゆる人が利益を得るための広い門戸

1. 世界中のあらゆる人は、協力者、仲介者、または借款起業家のアシスタントとして契約を締結すれば、自らの努力で借款起業家に送金された送金額の 1% を得ることができる。
2. その利益は仲介業務の性質を持つものではなく、協力者、仲介者または借款起業家にたいする有用かつ重要なサービスの結果として生じるものである。

第 27 条 アシスタントの義務免除

アシスタントは、上司の合法的な指示を尊重し、この MOU にしたがって行動する限り、いかなる債務も免除されます。

第 28 条 規定契約

第 26 条が定める定式の契約は、この覚え書きに付属文書 IV として添付され、地球愛友好仲間のウェブサイトで公開される。

第 8 部 財務

第 29 条 会計局

1. 地球愛友好仲間の活動開始段階では、現在の MOU の当事者となる用意のある原会員の銀行に、現在のプロジェクトのための会計局が設立される。(第 1 条を参照)

2. 地球愛友好仲間により議長職が承認された第2段階（第7条）から、当銀行はパートナー間の財務上の項目を記入し、協力者の送金から1%の手数料を引き続きうけとることができる。

第30条 北海道宮殿に関する基本合意

新生北海道宮殿の基本的構造、およびその銀行簿記について、地球愛友好仲間会長は、第1条の定める銀行と協議し、北海道宮殿に関する基本協定を締結する。この協定は、世界の将来のこの種宮殿が一標準として採用できるようなものとする。

第9部 紛争の解決

第31条 第1および第2文書の送付

1. このMOUの当事者は、みずから紛争を解決できず、地球愛友好仲間には紛争解決の支援を依頼する場合、同仲間の事務局長に紛争に関する第1文書を提出し、その行為の合法性または違法性には触れずに、事実に関する要点または意見を述べるものとする。

2. 紛争当事者は、第1文書で相手側が提起した点に対する回答が記された第2文書を事務局長に提出するものとする。

3. 事務局長は、不明瞭な事実について質問し、より詳細に明らかにし、当該事件に関するすべての文書を地球愛友好仲間会長に送付するものとする。

第32条 調停委員会

1. 地球愛友好仲間 会長は、調停委員会（CC）を組織するものとする。

2. CC委員と紛争当事者は、そのあいだで直接書面でやり取りしてはならず、地球愛友好仲間の事務局長を介して、それを行うことができる。

2. いずれかの当事者がCCによる裁定に同意しない場合、別段の定めがない限り、北海道で調停を含むその他の法的手段により紛争を解決するものとする。

3.

第10部 最終規定

第33条 北海道宮殿の設立

地球愛友好仲間は、第30条が定める北海道宮殿に関する基本協定で、北海道宮殿の会計だけでなく、以下の基本事項についても合意するものとする。

- a. 地球愛友好仲間と北海道宮殿の将来の関係；
- b. 北海道宮殿を株式会社、財団等として設立するかどうかに関する 北海道宮殿の法的形態；
- c. 北海道宮殿の完全な独立性；
- d. 北海道宮殿と他の諸国の宮殿との協力。

第34条 現 MOU の存続

北海道宮殿 が活動を開始しても、現 MOU は尊重される。ただし、地球愛友好仲間の役員は、状況に応じて増減される場合がある。

第35条 地球愛友好仲間の活動の継続

1. 地球愛友好仲間は、次の目的のために、地球愛友好仲間じたいの継続を維持するよう努力しなければならない。
 - a. 北海道宮殿 に協力し、その成長をさらに促進する；および
 - b. 世界中、より多くの 地球愛平和友好宮殿 を設立するため、その国際協力を促進する。
2. 地球愛友好仲間の廃止は、会員の3分の2以上の多数決で決定できるものとする。ただし、一部の役員が元仲間のための連絡事務所を設立し、他の諸国でこの種の宮殿を設立すべく国際協力をさらに進めることができる。

第36条 正文

—

2. MOU は 北海道宮殿 のウェブサイトで公開されるほか、地球愛友好機構のウェブサイト <http://mopw.org> でも暫定的に公開することができる。

第 37 条 MOU の発効

1. 第 14 条から第 16 条に関しては、地球愛友好仲間 と第一走者が具体的な条件で合意に達したときに発効する。

2. 地球愛友好仲間 に 50 人以上の 地球愛友好仲間の原会員が登録された後、MOU 当事者の法的署名がなくても、現 MOU 草案は、同仲間ウェブサイトまたは ELFO ウェブサイト <http://mopw.org> でこの MOU 草案が公開され、その後 1 週間に異議が出なかった場合、それは発効できるものとする。

第 38 条 撤退

1. MOU 当事者が、本 MOU およびプロジェクトから脱退する場合、2 か月前に通知するものとする。

2. MOU 当事者が、この MOU に加入してから 2 か月未満であれば、90%の払い戻しを受けることができる。ただし、2 か月以上経過している場合、払い戻しをうけることができず、契約の維持に努めるものとする。

第 39 条 融資した後継者

1. 「融資した後継者」とは、本 MOU の発効後に MOU に加入して、北海道宮殿のプロジェクトに融資したパートナーをいう。

2. 融資について、これらの後継者には、原会員と同じ諸条件が適用されるものとする。

第 40 条 融資義務のない後継者

「融資義務のない後継者」とは、この MOU の発効後に MOU に加入し、融資義務なしに北海道宮殿の成長および世界中の多くの宮殿の設立に寄与する決意した者をいう。

第 41 条 MOU 当事者および寄付者は永遠に称賛される

MOU 当事者と寄付者の芳名は、MOU の付属書 V および北海道宮殿の文書保管所に、その詳細情報とともに永久に刻まれ、全人類のための平和と友好の促進の先駆者として、永遠に称賛される。

付属書 I 地球愛友好仲間の投票

MOU 第 3 条第 4 項は、「本プロジェクトの資金額とその流れの決定に関しては、すべての当事者が地球愛友好仲間の枠組み内での投票システム、すなわち付属書 I に示されている投資額に比例した緩和投票に同意する」と定めている。

この規則に従って、MOU の当事者は次の表に同意します。

1 単位の資産 (1 ドル相当) の投資家は 1 票
10 単位の資産 (10 ドル相当) の投資家は 2 票
100 単位の資産 (100 ドル相当) の投資家は 3 票
1,000 単位の資産 (1,000 ドル相当) の投資家は 4 票
10,000 単位の資産 (10,000 ドル相当) の投資家は 5 票
100,000 単位の資産 (100,000 ドル相当) の投資家は 6 票
1,000,000 単位の資産 (1,000,000 ドル相当) の投資家 7 票
10,000,000 単位の資産 (10,000,000 ドル相当) の投資家 8 票
100,000,000 単位の資産 (100,000,000 ドル相当) の投資家 9 票
1,000,000,000 単位の資産 (1,000,000,000 ドル相当) の投資家は 10 票

注 1.

「本プロジェクトに対する資金の額およびその流れの決定」は、この MOU の重要な項目であるため、3 分の 2 以上の多数決で規則を改訂することができる。

注 2.

上記の投票システムは、地球愛友好仲間内で、限定的に適用されるべきものであり、借款起業家グループおよび 北海道宮殿の投票システムにはまったく影響を及ぼさないものとする。

注 3.

同じく、このプロジェクトにかかわる集団（会社、友好団体、文化スポーツ団体、自治体、NGO など）内の意志決定、投票、利益配分など制度は、ここでは適用されない。

注 4.

寄付者には、多大の感謝を表明しつつも、地球愛友好仲間では、投票権がないものとみなされる。ただし、意見表明の権利は享有する。

付属書 II. 北海道宮殿の態様

A. 高層ビル

北海道宮殿は、できるだけ高層ビルになるように努力する。ただし、実際の階数、敷地面積および床面積などは、実際の融資額または確実な予定融資によるであろう。高層になればなるほど、上部には、住宅、ホームステイ用住宅、ホテル、他の宿泊施設などが増築さるであろう。

B 体育文化施設との共栄

北海道宮殿は、北海道内の大きな体育施設または文化施設と隣接し、それと共生共栄できるような形態で、なるべく競合しない、むしろ補完的で、相乗累積的な効果を生むような内容にすることが望ましい。

C. 北海道宮殿の各階の特徴

この類型は、いろいろ考えられるが、以下はその 1 例であり、実際の進行は、借款起業家またはその起業家グループが、地球愛友好仲間の意見を斟酌しながら、プロジェクトの立案、その精巧化、修正などをおして行われる。いずれにしても、地球愛友好仲間と北海道宮殿の関係者は、より良い選択を検討する必要がある。

5 階以上：ホテル、ゲストハウス、個室

A. ほぼすべてのフロアを宿泊施設として使用し、国内外のアスリート、一般外国人、留学生、国際貿易会社が利用しやすいように配慮する。

B. 外国風の部屋、先住民族および少数民族用のスペース。

C. 外国人が北海道でホームステイを体験できるように、和室の 2LDK および 3DK の部屋をいくつか用意する。近隣の大学生用に部屋に、必要に応じて確保する。



4階：地域別・国別のスペースまたは事務所

- A. 北米、南米、太平洋オーストラリア、北東アジア、南西アジア、アフリカ、中東、ヨーロッパなどの地域別、または国別の部屋を用意します。
- B. 経済、文化など、どの分野に利用したいかは、利用者の希望を尊重します。

3階：各種プレゼンテーション、映画、FM ラジオ放送のステージ

- A. ステージでは、歌、ダンス、演劇（外国語のセリフには日本語字幕付き）、講演などを行う。
- B. 正面にスクリーンがあり、音響設備やオーバーヘッドプロジェクターが使用可能で、更衣室、同時通訳設備があります。
- C. このホールのFM ラジオ局は、「地球に優しいFM 北海道」（仮称）と名付けられます。

2階：文化、語学、スポーツなど多目的ホール

- A. 歌舞伎（邦楽、洋楽、童謡、ジャズ、ロック、バレエ、フラダンス、カラオケ）
- B. 日本語および世界の主要言語の指導（語学教室）
- C. スポーツ：剣道、柔道、卓球、太極拳、テコンドー、ヨガ、パラリンピックルームなど
- D. 囲碁、チェスなど世界の子供向けゲーム（北海道宮殿を訪れる大人のお子様向け）
- E. シャワー、小浴場、サウナ、外国風サウナなど



1階：喫茶室、日本食、コーヒーショップ、エスニック料理のローテーション

- A. 入り口前の喫茶室（ここでお客様をおもてなしする）
- B. 和食に力を入れる。和食はユネスコに登録されている。
- C. 1階では、回転するエスニック料理も大きな特徴で、寿司を中心に、さまざまな民族の代表的な料理のサンプルが回転する。試食したものが気に入ったら、すぐにそのエスニックレストランに行くことができる。



地下1階：駐車場

地下2階：駐車場

地下3階：駐車場

付属書Ⅲ 返済モデル

第 11 条第 3 項に従い、企業借入者は協力者との合意により、以下のモデルのいずれかを選択して貸付金を返済することができます。

モデル A

借款起業家の負担が軽く、2 年間は元本とその利息を返済する必要がない。

モデル B

借款起業家にとり、中程度の負担の負担で、同起業家は、2 年間は元本を返済しなくともよいが、利息は返済しなければならない。

モデル C

借款起業家にとり、より重い負担になるもので、同企業家は、1 年間だけ元本とその利息を返済しなくともよい。

モデル D

借款起業家にとり、さらに重い負担になるもので、同企業家は、1 年間は元本を返済しなくともよいが、利息は返済しなければならない。

モデル E

借款起業家にとり、もっとも重い負担となるもので、借款起業家は、1 年目から元金（資本金 元本）とその利息を返済する。

モデル F

借款起業家は、協力者（銀行家、投資家など）との合意に従い元金とその利息を返済することができる。

付属書IV. アシスタントに関する定型契約

だれでも契約により協力者（銀行家、投資家など）、ブローカーおよび借款起業家のアシスタントになることができ、それらの名前で新しい協力者または借款起業家を勧誘することができる。（OEL0 憲章、第 48 条。 <http://mopw.org/elo%20n15%20char-e-240810.pdf>）。

地球愛友好機構は、北海道宮殿に関心のある多くの人びとが、原則として、誰でも契約当事者になることができ、世界の平和と友好に貢献できるこの種の大衆的な契約に最大限の注意を払うよう期待しています。

以下は、たとえば、ブローカー甲とアシスタント乙の間の契約案です。

友好と協力に関する 甲と乙の間の契約

甲と乙は、友好と協力に関する甲と乙の間の本契約の締結によって、諸民族の平和および友好に貢献できることを光栄に思い、契約の目的を達成するため、力を合わせることを決意した。

第 1 条 幸福の大きな源の 1 つ

両契約当事者は、本契約が、我われ両者間だけでなく、人びとの間の平和、友好、協力を促進する良い例を示し、我われと地球愛友好仲間の会員にとって、大きな幸福の源の 1 つとなるよう努力する。

第 2 条 送金の 1 %

1. 甲 は、乙 が協力者または借款起業家を地球愛友好仲間に勧誘するのを支援し、乙. の努力によって借款起業家に送られた送金の 1 % をうけとることができるものとする。
2. 合意により、乙 は借款起業家の良きアシスタントとなり、同起業家の名で潜在的な協力者（銀行家、投資家など）を勧誘し、乙の努力によって送られた資金の 1 % を受け取ることができる。

第 3 条 勧誘の適切な形式

乙は、原則として、自分は地球愛友好仲間の会員であり、ブローカー 甲. の個人的アシスタントであること；甲と自分は北海道宮殿設立の実現に最大限の努力を払っていること；そして貴殿が本メッセージに添付されている覚え書き（MOU）を見て興味を持ってくれたなら、借款企業家は大変喜ぶであろうこと等を記載した勧誘のメッセージを送付する。

第 5 条 義務の免除

乙は、甲の合法的指示を尊重して、この MOU に従って行動する限り、いかなる債務からも免除される。

第 6 条 紛争の解決

1. 甲と乙が自ら紛争を解決できず、地球愛友好仲間 に紛争解決の支援を依頼する場合、本 MOU 第 31 条に規定されている第 1 文書および第 2 文書を提示する。

4. 本 MOU 第 32 条に規定されているように、調停委員会が組織される。

3. いずれかの当事者が CC による裁定に同意しない場合、別段の定めがない限り、紛争は北海道で他の法的手段によって解決される。

わたし金子りきおは、いろいろな協力者（銀行家、投資家など）、ブローカー、借款起業家のアシスタントとなって、かれらを手伝わなければならないこともあり、多忙きわまりないです。それゆえ、もしできれば、本 MOU 上のわたし「アシスタント」の、さらに助手となっていただけますと、大変うれしいです。

本 MOU 上のアシスタントの個人的助手の場合でも、前記の「アシスタントに関する定型契約」が、原則的に適用されるでしょう。別段の定めがない限り、この定型契約が定めている「送金の 1%」の金額の 80%をアシスタントの個人的助手が受け取れるものとする。

本 MOU 上のアシスタントとして、わたし金子の場合、そのように私の個人的助手が 80%、わたしが 20%の分け前をうけとるということで、融資を加速したい。

付属書V. One World 北海道宮殿の貢献者名簿

(敬称は省略させていただきます)

この公表は、当面 A. 融資する発起人、B. 融資義務のない発起人を下記のような形で、原則として、発起人が分かっている順番で、記帳していきます。融資する発起人は、2025年3月23日現在、全部で **760** であり、そのほとんどが地球愛友好機構の会員です。

A. 融資する原会員

現段階では、融資する原会員は、圧倒的に ELFO 会員で、外国人が多いですが、いずれ日本人も多数この企画に融資するだろうと思います。ELFO 会員が多いのは、世界の人びとの心を結ぶため、このような宮殿または小宮殿の建立に大きな意義をみいだしているからだと思われま。ともあれ、下記の人士が、2024年10月26日時点で、公表できる名簿です。

1. 金子りきお (50 万円。条件：PPP 協定の締結；3年の返還期間；第1走者)
2. キセンボ・アブラハム (2 千米ドル。条件：PPP 協定；3年で返還；第1走者)
3. エドマリオ・ペイヒンホ (2,000 US\$。条件：PPP 協定；3年で返還；第1走者)
4. アファ・アメンヤー (700 米ドル。条件: ELFO 総会で 2024 年 10 月採択の 4 つの標準留保)、
5. ユーバ・ナス (条件: ELFO 総会で 2024 年 10 月に採択の 4 つの標準留保)
6. 三浦 聡 (500 米ドル 条件: ELFO 総会で 2024 年 10 月に採択の 4 つの標準留保)
7. ユーバ・ナス (条件: ELFO 総会で 2024 年 10 月に採択の 4 つの標準留保)
8. アムバ・マラセ (500 米ドル。条件：PPP 協定；3年で返還；第1走者)
9. 佐々木 博之 (1 万円。PPP 協定の締結；2年の返還期間；第1走者)
10. 金子 健 (1 万円。PPP 協定の締結；2年の返還期間；第1走者)

下記の貴頭は VIP 又は外務省所属外交官

これらの人士は ELFO 会員であり、MOU 第 16 条により、最低 300 米ドルの融資が義務的である。

2024 年 10 月 27 の ELFO GA の決定により、これら下記の貴頭は、別段の条件を提出しない限り、次頁の 4 点 (標準的留保) を留保しているとみなされます。

第1の留保は、このプロジェクトが PPP により実現されるなら、融資すること；

第2の留保は、当初の準備資金が払い戻しに十分な額に蓄積されている、ということ；

第3の留保は、返済金は3年間で6%の利子で返還される、ということ；

第4の留保は、借款起業家が返済不能なとき、4年目の利子は7%、5年目は8%になること。

アルバニア: ヴィオラ・カロシ、ベスニク・コンシ、エグランチナ・ジェルメニ、アルヂト・クルチ

アフガニスタン: ノール・アーマザイ、ダレヘエ・イスラム、ナジブラー・サフィ

アルジェリア: イメン・ミスラウイ、サブリ・ブカドゥ

アンゴラ: ニコル・エンリケ

アンティグア・バーブーダ: クラレンス E ピリグリム

アルゼンチン: エンバハドル・フリドマン

バーレーン モナ・ラドヒ、マルタ・ガブリエロニ

バングラデシュ: A アラウヂン・ヴィアン、モハマド・ジャシム・ウッチェン、アラムジェエル・ホッ
セイン

ベルギー: ジョ・スリヴァン、フランク・ヴァン・グレン博士、クリスチーナ・フネス・ノッポン

ベラルーシ: A アレーシア・ゴルクーシャ; ロマノス・ラード

ベニン: ヴィンセント・サイ、サナタ・エリザベス・ラハミ

ブータン: ラトゥ・ワンチュク ボスニア・ヘルツェゴビナ: ボロ・ブロンザ、ハリス・ルコヴァツ、

ボツワナ: マリア・モラペディ・シウエン、ムラト・ラマダノビッチ教授

ブラジル: クリスティアーネ・アキノ・ボノモ; フランシスコ・ルス、セリア・デル・ブッパ、リリ

アン・スキアボブルガリア: ラディオン・ポポフ、ラチェザール・ペトコフ、アントアネタ・ディ
ミトロワ、エレナ・ポプトドロワ

ブルキナファソ: カヨウロ・ウェンセスラス・クリバリ

カメルーン: アオンビベイ・ブレイズ、

カナダ: ダミアン・ペレイラ、マーガレット・M・カレン

中央アフリカ: ハモチ・チナ

コンゴ: シリル・ムシラ

コモロ: ; グラッドウィン・タン卿

コスタリカ: マリエラ・クルス、ビクター・ロハス、ウォルター・フォンセカ・ラミレス博士

クロアチア: フルヴォイエ・チコヴィッチ、ヨシップ・ブリェヴィッチ、

キプロス: カール・ケマル・アキ、マヴロマティス、

チェコ共和国: カヨウロ・ヴァーツラフ・クリバリ

デンマーク: ムフィード・シャミ、

ドミニカ: フェデリコ・アルベルト、クエロ・カミロ

エジプト: アムル・マヒシン、カリム・エル・シャルカウイ、シェリフ・アイサ、モハマト・モヘク、ハテム・エラタウイ;ハニー・ラベア、ハディ・エルトンシ、アクラフ・イブラヒム、モアヤド・エルダリー、マフムード・エザット、レダ・ベバルス、アーメド・シェハベルディン、アーメド・エル・シャーラウイ

イングランド: アブディラザク・アシュキル、カリム・エル・シャーカウイ、ハリエット・クロス、カーク・ホリングスワース、マフムード・グサイス。アーメド・シェハベルディン。アーメド・シェハベルディン

エルサルバドル: セルジオ・ガヤルド、

エチオピア: エウネトゥ・B・デベラ、メルハウイット・ハドゥシュ、エウネトゥ・B・デベラ、メルハウイット・ハドゥシュ、テレフェ・ブルカ・オコリ、ヘノク・セイフ・メリッド、ジュネット・テショメ・ジル。ガトルアク・リース・バヤク、アジザ・ゲレータ博士;ケベデ・アベラ。ヘリナ・ディンク。

フィジー: サウラ・ソヴァニバル、イシャ・ヴェルマ、ジャルジート・クマール、カムレシュ・プラカシュ閣下

フィンランド: ミカ・フィンスカ

フランス: ジャック・メール ガーナ: ウィリアムズ・アモア、ジャルジート・クマール、

ギリシャ: キレ・イリオンスキー博士、アレクサンドロス・P・マリアス ギニアビサウ: マルセリーノ・ゴメス

ハイチ: マルク・エドウィン・ジュステ、サブリーナ・ピエール

ホンジュラス: イヴァン・ロメロ・マルチーネス

ハンガリー: アッチラ・エルドス、バルバラ・ホルヴァス

インド: レオ・レベッコ博士、スリクマール・メノン、ヨゲシュ・グプタ、ディーパック・ヴォフラ、ガウリ・シャンカール・グプタ、コクラ・クリシュナ・ハリ・K

インドネシア: キレ・イリオンスキー博士

イラン: ミラド・ラバニ、ハビブ・カラヴァンド、ユセフ・ガーン、マジッド・ガーレマニ

イラク: ムハンマド・サイード・サーヒブ、アシル・アルサーディ、サファー・ヤシーン、モハマト・ホセイン・エマディ、サファー・ヤシーン、メタク・ラシャド、メタク・ラシャド。

イスラエル: ノア・ガル・ジェンドラー、ラファエル・シュッツ、ヴァイオレット・ディチェンコ、コッピ・シヨシヤニILIN、シェイク・ニアン

イタリア: アメデオ・トランバジオーロ、キアラ・マサロット・

アイボリー・コスト: ベルナルド・レクレール、アルノー・ディビ

ヨルダン: モハマト・アルジブール、タレブ・リファイ

カザフスタン: アイドス・ベスパエフ ケニア: ラメク・オンババ

キルギス：チンギス・エシンベコフ、ムクター・ジュマリエフ

クウェート：スンドゥス・アルファレシ、サルマン・シャハリヤル

レバノン：ネーメ・ホーリー。ドゥライジ・アル・アック博士

レソト：リチャード・ラモレツィ、ハリル・モハマド ラトビア：インドゥリス・ベルジンス

リベリア：エリアス・ショニーイン

リトアニア：エドゥアルダス・ボリソヴァス、

マケドニア：ゾラン・ジョレフスキー、キル・イリオスキ博士、H.E.トニ・アタナソフスキー博士

修士課程 マラウイ：ジェーン・フランシス・ナンクウェニャ、ニル・ゲス、グレネンガー・バンダ

マルタ：アフマド・アジズ、マルチェロ・パティ、マーク・コーソン、タレス・カストロ、ゴードン・ペース・ボネロ、アレックス・セベラス・トリゴナ。

メキシコ：マリオ・ベルトラン・マイネロ、リリー・アルバ、セルジオ、インクラン博士、カルロス・ヴィルキス、エレアザル・ベンジャミン、モルドバ：ヴァレリュ・チベリ。

モンゴル：アリウンボルド・ヤドマー、ダヴァドルジ・キシグデルガー、アユルザナ・ハラヴチ、アビルミド・バトゥール

モロッコ：モンシフ・シェルカウイ・ジャワド、アブデルマレク・ケッターニ、シハム・ムラビット、ムバレク・アフエコウ

ミャンマー：プウェイ・エイ・トー・ルウィン。ハリド・アブデルラフマン。テイン・ミントウン；

ナミビア：リアーン・エクステーン、

ネパール：ブワン・パウデル氏、シャンカール・シャルマ、ユバ・ナス・ラムサル氏、オランダ：

ハンス・G・スメーリング氏、リタ・ドウルシ・ラーマン、ニジェール：ブルーノ・ホッター氏、

ナイジェリア：エビエ・トンビリ氏、オスティタディンマ・アナエドゥ氏、メアリー・オズンワンジ氏。フランス・レイ。

オマーン：エリー・スレイマン

パキスタン：ファイサル・アブロ パラオ：アントニス・ハラランブース パレスチナ：モハマド・カンファー、リンダ・ソーベ・アリ。モハマド・タルシャハニ

フィリピン：ジーザス・S・ドミンゴ、ジョン・S・クレイマー

ポーランド：マルシン・クロール、トマシュ・ティワンチュク、ロバート・ノヴァコウスキー。ベ

アタ・ペンクサ ポルトガル：アーメド・アミン・ブゲッラ、ホセ・コスタ・ペレイラ ロシア：アンドレイ・N・チェルニシヨフ、アセフ・サイード。ドミトリー・シャラポフ。

セントルシア：カテリーナ・シセローネ セイシェル：ジェームズ・アリックス・ミシェル

セネガル：ドラマヌ・サモウラ、シェイク・ニアン セルビア：ベスナ・アルシク、

シエラレオネ：ジョニー・サール、ヴィクトル・ボカリ・フォー

シンガポール：マチュー・エルヴィラール・ル・ペイエ

スロベニア: A アニタ・スタンコヴィク・パブリク、マトジャズ・シンコヴェク
ソマリア: アーメド・ハイレ
スリランカ: ラシェエド・A.M、パリサ・コホナ、M.H.M.N.バンダラ
南アフリカ: カルメン・スミット、ノクプムラ・マベナ、ヴィカ・M・クマロ、ファティマ・イブラヒム、アフア・アメニヤ
南スーダン: ドゥオール・ルアハ・グオク、ネーメ・カーリーネーメ・カーリー博士、ジャクソン・アティアン・マノット
スペイン: フアン・マヌエル・ロペス・ナダル
スーダン: サラ・ヒシャム、ムサブ N.イブラヒム、オスマン・モハメッド、アルワ・サリフ
スウェーデン: オラ・ヨハンソン
スイス: オトマール・ハルデッガー、アー・レザー・フィルダウス。ステイヴァン 斯文 デフィア
徳;ハンスヨルグ・マイヤー
タンザニア: エドワード・ロワッサ
タジキスタン: フスラフ・ノジリ: タイ: 大使フリードマン、プラエ・オンティラ・アマタヴィヴァト
トーゴ: テオドール・テボウ、
チュニジア: ラミア・ケダディ・シアラ、UAE: ヴァンダ・ロペス、
ウガンダ: エリック・アラリ
ウクライナ: ナタリア・ホルブ・コトラルチュク、ナタリア・ラディヴィンチュク。
ウルグアイ: アルベルト・グアニ
アメリカ: パトリシア・モラー、クリシュナ・ウルス、ジェームズ・ナイト。ジェームズ・ナイト。
ビル・フランシスカス。
バヌアツ: ベルナール・ルクレール、オド・テヴィ
ベネズエラ: クラウディア・サレルノ・カルデラ、
イエメン: ワリド・モザヘム
ザンビア: オスカル・シティマ、ベンジャミン・カトンゴ、モヒエディン・ベン・ジェマー・ショーキー・アルワイリー

B. 融資義務のない発起人

青木 佐次郎

松本 邦弘

One World 北海道宮殿の関係者公募

関心者の皆様

2025年11月吉日

発起人 地球愛友好機構名誉会長、札幌大学名誉教授 金子りきお

皆様各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶びを申し上げます。

さて、札幌大学で国際関係論を担当してきた私は、地球愛友好機構の設立を呼びかけて、ようやく2020年の元日、その創建にたどり着きました。

この機構は諸民族の分断でなく、**平和と友好を重視しつつ、国際調停機構、地球愛オアシス機構だけでなく、国別の地球愛友好協会などの子団体の設立にも多少とも成功**してまいりました。

この地球愛ファミリーの多くの活動の一つとして、今度は One World 宮殿を、可能な地域で建立していく、ということが地球愛ファミリーで決定され、いまや北海道、米国、英国、ブラジル、戦後のウクライナ、カメルーン、インド、ウガンダ等、ほぼ60か国における同宮殿の了解覚え書きがすでに満場一致で承認されるに至りました。

地球愛オアシス機構の会員が、ほぼ外国人であるために、One World 宮殿は、いずれの国に設立されるにせよ、国際的な性格をもち、関係者も資本も、国民的というより、全地球的な色彩を帯び、世界の人びとの心をむすびつける役割をもつでしょう。北海道宮殿の了解覚え書きによれば、

我ら、One World 北海道宮殿（以下、北海道宮殿と略す。）のプロジェクトに関するパートナーは、このプロジェクトの実現が諸民族間の平和、友好、福祉、信頼の促進に寄与する上で非常に意義深いものであることを認識し、この平和的プロジェクトの完成に向けた国際協力が、実りある成果を生み、世界中の人びとの心を結びつけることを確信し、北海道宮殿の本プロジェクトを実現するため力を合わせることを決意した。

One World 北海道宮殿の創建計画は、世界各地における同種宮殿の設立が期待されているものの一例で、その41条以上からなる了解覚え書き（案）については、下記の URL をご覧ください。

<http://mopw.org/ri-jp%20loanee-n8-241027.pdf>

いま公募しているのは、**A. 融資する原会員（第1条） B. 融資義務のない原会員（第2条）**です。

第1に、とりわけ緊急性が高いのは借款起業家で、起業家が自力で借款なしに北海道宮殿を運営できるならば、もちろん、それは大歓迎されるでしょう。

第2に、銀行家、投資家、寄付者等、当プロジェクトを財政的に促進する支援者です。現段階で特徴的なのは、多数の外務省出身の外交官を含む**750余名の人士**が、出資する用意があることでございます。

第3に、融資義務のない原会員。本プロジェクトに関心あれば、世界中のいかなる者も団体でも原会員として歓迎されます。そのほかに法律家と法律家団体、教育機関または教育者、スポーツ・ゲーム選手と団体、友好団体、宗教家と宗教団体、企業家および業界団体、観光、ホテル、レストランの関係者、文化人、文化団体なども歓迎されます。

札幌市民、道民、日本国民、および世界の人びとのご理解とご協力を心より切望しております。

参考：地球愛友好機構のサイト <http://mopw.org> ブラジルの小宮殿については、[ここをクリック](#)
問い合わせ先は Tel& Fax:011-300-5355（事務所）、メールアドレス：kaneko-ri@jcom.home.ne.jp
道内国会議員、道議会議員、北海道市議会議員、および党員の皆様

2025年4月吉日

地球愛友好機構(ELF0)名誉会長 札幌大学名誉教授 金子りきお

One World 北海道宮殿についてのお願い

議員各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶びを申し上げますと同時に、標記の One World 北海道宮殿につきまして、皆様各位に謹んでお願い申し上げます。

まず第1に、本文書の裏面をご覧になってくださるならば、この発案の経緯がご理解できると存じます。これは「世界中の人びとの心を結びつけることを確信し」、可能な場所に平和と友好のための One World 宮殿または小宮殿を建立していこうというものでございます。その骨格は、そのための「了解覚え書き」で述べられております。(参照 <http://mopw.org/ri-jp%20loanee-n8-241027.pdf>)

現在、One World 北海道宮殿の会員になる用意のあるものは、日本人より外国人のほうが多く、その大多数が諸国の外務省出身の外交官で、これら貴顕だけでも300名以上です。どこに宮殿が建立されようとも、当初は所与の国民より大多数の外国人が建立に名乗りをあげることは避けられません。発案者 ELFO 自体が、全地球的だからでございます。

もちろん、望ましいのは、One World 北海道宮殿には、まずは道民、日本人が最終段階では多数を占めることですので、わが国民の参加応募に今後は力をいれていく所存です。「了解覚え書き」の第1条は融資する原会員であり、議員各位がこの種の会員または寄付者になっていただけますと、誠に幸甚でございます。

第2条は融資義務のない原会員の規定であり、One World 宮殿の建立に関心あるなら、世界中のいかなる者も団体でも原会員として歓迎されます。まず筆頭に挙げられているのは、政党または政党人であり、議員または党員が、融資義務のないこの種の原会員になっていただけるなら、これも喜ばしいことでございます。

この One World 北海道宮殿は、世界の人びとの心を結びつつ、平和および友好を促進しようとのダイナミックな構想であり、諸国の外交官だけでなく、世界の多くの議員や政治家も協力するかもしれませんので、どうか、まずもって道内の議員および政党人が、このプロジェクトの原会員になっていただけるなら、誠に幸甚でございます。第1条の融資する議員と政党人は、諸国の外交官のように、下記のような標準的な留保を提起しても結構でございます。

第1の留保は、この企画は、PPPにより実現されるなら、融資すること；

第2の留保は、当初の準備資金が払い戻しに十分な額に蓄積されている、ということ；

第3の留保は、返済金は3年間で6%の利子で返還される、ということ；

第4の留保は、借款起業家が返済不能なとき、4年目の利子は7%、5年目は8%になること。

この標準的な留保でも不安であれば、ご自分の満足できる条件を追加してもよいです。どうか、議員各位および政党人におかれましては、自党のみならず、多くの友人にお声をかけていただき、世界の多くの人びとの心を結びつけ、平和と友好の促進に寄与する One World 北海道宮殿の建立にご理解および協力してくださるよう衷心からお願い申し上げます。

北海道市と北海道の発展、およびより良いひとつの平和友好的な世界のために

金子りきお 拝